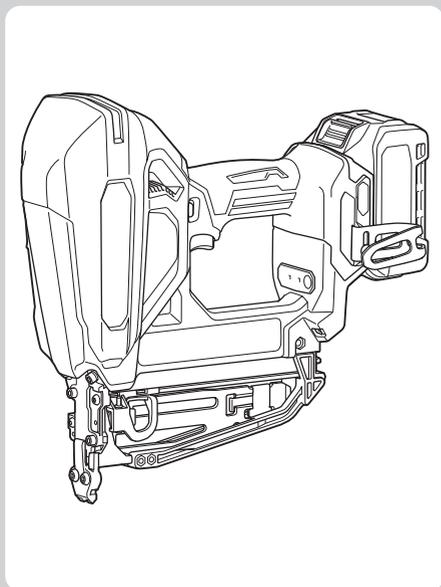


Makita

取扱説明書

充電式 フロアタッカ

モデル ST003G



このたびは充電式フロアタッカをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	3
各部名称	14
標準付属品の確認	15
別販売品のご紹介	16

ご使用前の準備

組み立て	19
バッテリーの充電	21
バッテリー/充電器の取り扱い	22
使用前に知っておいていただきたいこと	23

使い方

バッテリーの取り付け/取りはずし方法	27
ステーブルの装てん/抜き取り方法	28
本製品の操作	30
・トリガロックボタンの操作	30
・打ち込み深さ調整	31
・空打ち防止機能	31
・ライトの点灯	32
・単発・連発切替スイッチ	33
・打ち込み方法	34
・フローリング作業	36
使用後の取り扱い	37
・本製品のお手入れ	37

保守/点検

点検	38
故障かな?と思ったら	41

はじめに

主要機能

主要機能		モデル
電動機		ST003G DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー (別販売品)		リチウムイオンバッテリー 対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧		直流 36 V (40 V max) ※
使用 ステープル	MA 線 フローリング ステープル	幅 4 mm × 長さ 25 ~ 38 mm
	MA 線 ステープル	幅 4 mm × 長さ 16 ~ 38 mm
ステープル 装てん数	MA 線 フローリング ステープル	1 連 84 本 / 最大 90 本
	MA 線 ステープル	1 連 79 本 / 最大 90 本
防じん・防水保護等級		IP56

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4020	3.3 kg	324 mm × 105 mm × 302 mm
BL4025		
BL4040	3.6 kg	330 mm × 105 mm × 302 mm
BL4040F	3.5 kg	

1 回の充電での作業量 (参考値)

・ 数値は参考値です。

使用バッテリー	打ち込み本数
BL4025	約 1,200 本

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを押し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式フロアタッカ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式フロアタッカとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
2. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
 - ・ 打ち損じのステーブルなどが当たりけがをする原因となります。
3. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
 - ・ ステーブルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
4. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
5. トリガススイッチに指をかけたまま運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射したとき、けがの原因になります。
6. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
7. 屋根などで作業するときは、前進しながら打つようにしてください。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
8. バッテリーを差し込むときは、トリガススイッチに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
9. 次の場合は、本製品からバッテリーをはずしてください。
 - ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。
 - 使用しない、または修理する場合。
 - 釘を装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本製品を持って移動する場合。
10. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. 作業環境に応じてヘルメットなども着用して作業をしてください。
 - ・ 事故の原因になります。

⚠ 注意

1. ステーブル射出口を金属などの硬いものに当てて打たないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
2. ステーブル打ち作業以外に使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
3. 指定以外のステابلを使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、釘がはね返り、事故の原因になります。
7. 作業中は、本製品に顔などを近づけないでください。
 - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、本製品が大きく反動し、けがをする原因になります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP 5 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0～3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

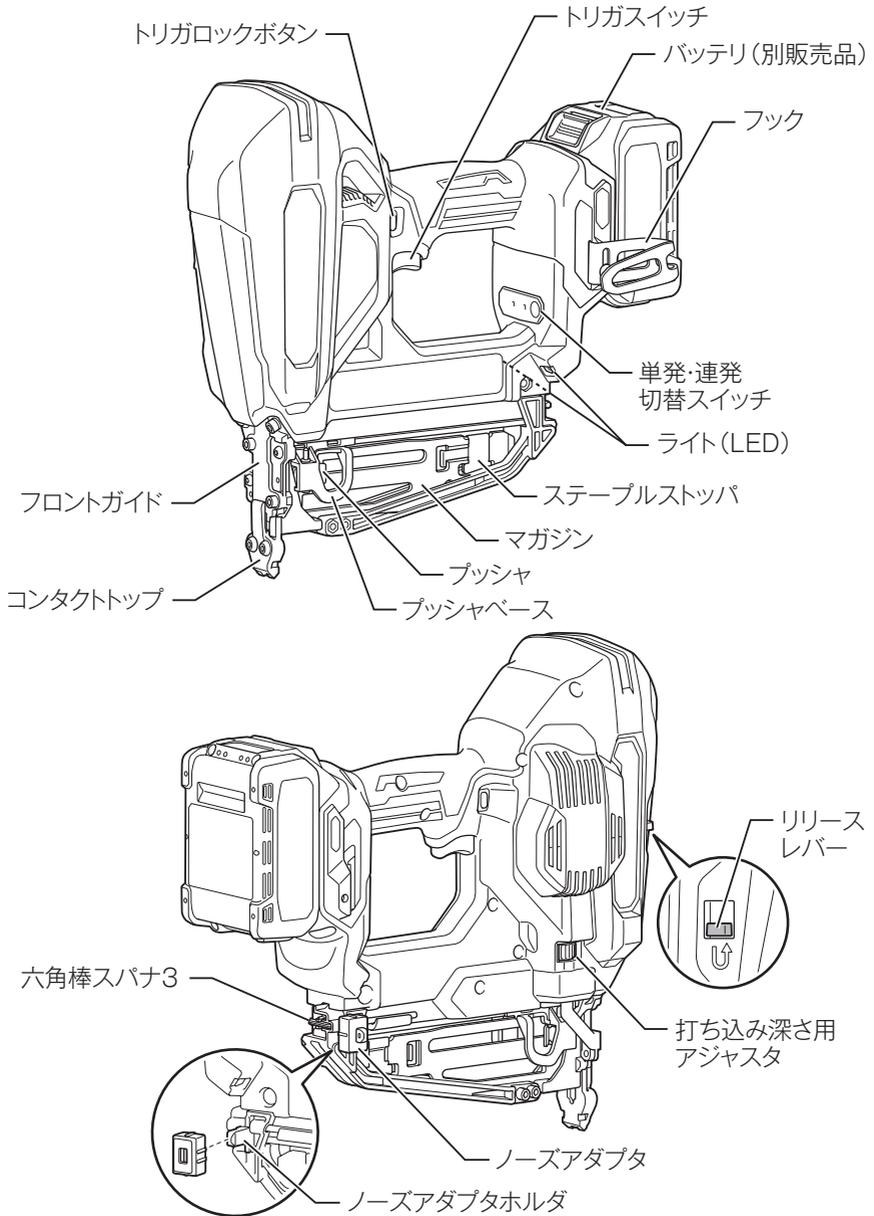
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0～3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 過度な粉じんのある所、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具体体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称

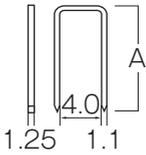


標準付属品の確認

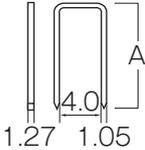
標準付属品	モデル	ST003GZ
バッテリー		×
充電器		×
フック		○
ノーズアダプタ（本製品取り付け）		○
六角棒スパナ 3（本製品取り付け）		○
セフティゴーグル（保護メガネ）		○

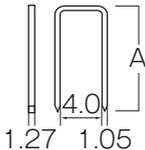
別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ MA 線フローリングステープル

種類	ステープル（幅 4 mm）		
材質	鉄		
形状 (各寸法：mm)			
A（長さ mm）	25	32	38
部品番号	F-81820	F-81833	F-81846
型式	425MAF	432MAF	438MAF
連結本数（本）	84		
1 ケース入数（本）	3,024		

・ MA 線ステープル

種類	ステープル (幅 4 mm)			
材質	鉄			
形状 (各寸法 : mm)				
A (長さ mm)	16	19	22	25
部品番号	F-81039	F-81042	F-81055	F-81068
型式	416MA	419MA	422MA	425MA
連結本数 (本)	79			
1 ケース入数 (本)	5,056			

種類	ステープル (幅 4 mm)		
材質	鉄		
形状 (各寸法 : mm)			
A (長さ mm)	28	32	38
部品番号	F-81071	F-81084	F-81097
型式	428MA	432MA	438MA
連結本数 (本)	79		
1 ケース入数 (本)	5,056		

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ BAP001G バッテリアダプタ
部品番号：A-75817
※このアクセサリは BL4020、BL4025、BL4040、BL4040F でお使いいただけます。
- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

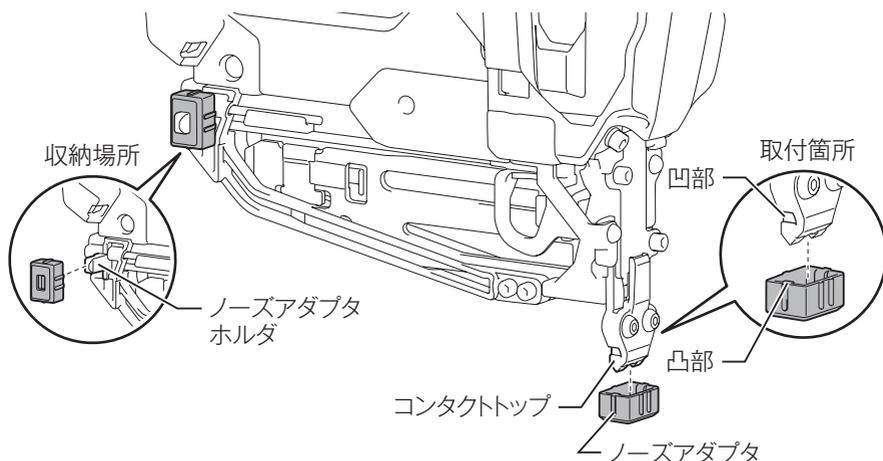
組み立て

ノーズアダプタの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

ノーズアダプタの取り付け、取りはずしをする場合は、必ずバッテリーとステープルを抜いてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。
- ・ 打ち込み材料の表面にキズを付けたくない場合、ノーズアダプタを取り付けた状態で使用してください。コンタクトトップでキズを付けるのを防ぎます。
- ・ 平打ち作業をする場合、必要に応じてノーズアダプタを取り付けた状態で使用してください。



■ 取り付け方

- ・ ノーズアダプタの凸部がコンタクトトップの凹部に合うように挿し込みます。

■ 取りはずし方

- ・ ノーズアダプタを指で引いて取りはずします。

注

- ・ ノーズアダプタを使用しないときは、ノーズアダプタホルダにしっかり押し込み、固定してください。

フックの取り付け／取りはずし方法

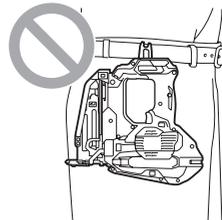
⚠ 警告

フックを使用する場合は、必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

フックを腰のベルトなどにはけしないでください。

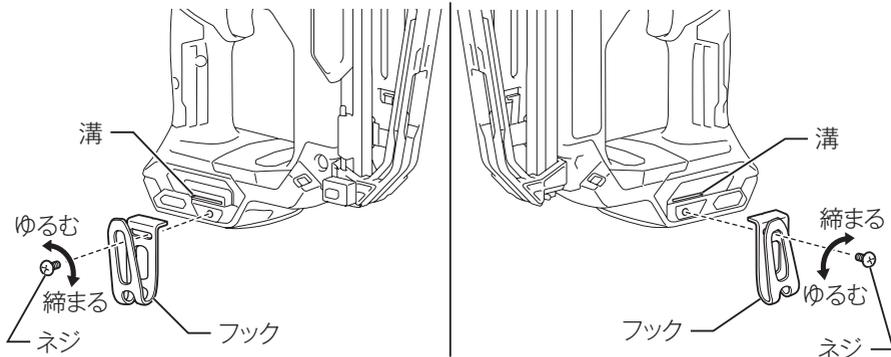
- ・ フックがはずれて本製品が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。



高所作業のときは、フックを使用しないでください。

- ・ 本製品を落としたとき、事故の原因になります。

- ・ フックを利用すれば本製品を一時的に引っかけておくのに便利です。
- ・ 取り付けるときは、本製品の溝部にフックを挿し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取り付け可能です。
- ・ 取りはずすときは、ネジをゆるめてからフックをはずします。



注

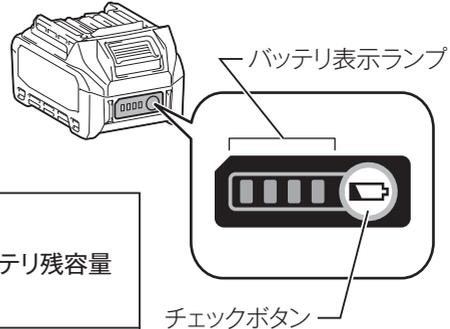
- ・ フックを取り付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。
- ・ フックは本来の目的以外で使用すると、事故の原因になります。

バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ▨ □ □ □ □ ▨ ▨ ↓ ↑	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

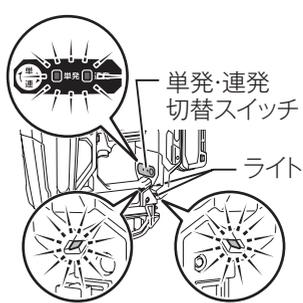
充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能	
<p>■ 2つのライトが点滅し、単発・連発切替スイッチのLED表示が同時に点滅するとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品の温度が高温になると、モータが自動停止し2つのライトの点滅と単発・連発切替スイッチのLED表示が同時点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用を中断して本製品を冷ましてください。 ・ バッテリーは取り付けたままにして、ライトの点滅が消えるまで本製品を使用しないでください。ライトの点滅が消えれば、再度使用することができます。使用状況や使用休止時間によって、保護機能の発動条件は変わります。 ・ 使用休止時間を長くしても本製品を作動できないときは、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。 	 <p>2つのライトの点滅と単発・連発切替スイッチのLED表示が同時に点滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品が高温時
<p>■ 2つのライトが点滅し、単発・連発切替スイッチのLED表示が交互に点滅するとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品が過負荷状態になると、モータが自動停止し2つのライトの点滅と単発・連発切替スイッチのLED表示が交互点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ いったんトリガスイッチから指を放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。 ・ ステープルが原因で過負荷を引き起こしている場合は、「ステープルづまりの直し方」(38 ページ参照)に従ってステープルを取り除いてください。 ・ それでも直らなければ使用を中断して、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(41 ページ参照)に従って点検してください。 	

再起動防止機能

- ・ 本製品には再起動防止機能を備えています。
トリガスイッチを引いた状態やコンタクトトップを押し込んだ状態でバッテリーを差し込んでも起動しません。その際は、トリガスイッチやコンタクトトップを放してから、再度トリガスイッチを引いたりコンタクトトップを押し込むと起動します。

本製品の取り扱いについて

- ・ スプレーなどを使用して工具内に潤滑剤または洗浄剤を絶対に塗布しないでください。工具本体の寿命や性能に重大な影響を与える原因になります。

安全装置の確認

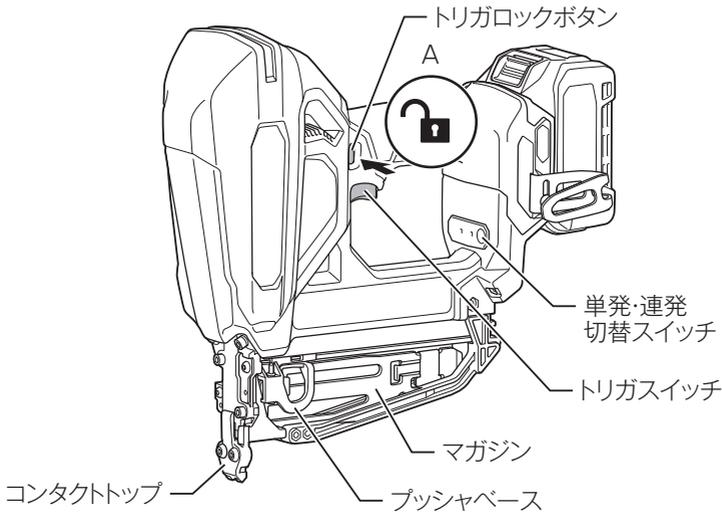
⚠ 警告

安全装置に異常がある場合は、使用しないでください。

- ・そのまま使用すると事故の原因になります。

ご使用前に次のようにして安全装置が正常に作動するか、確認してください。

1. ステープルを装てんしていない状態でバッテリーを差し込みます。
2. トリガロックボタンをA側から押して、トリガスイッチのロックを解除します。



■ 単発モードの場合

1. 単発・連発切替スイッチを押して、単発モードにします。
2. プッシャベースをマガジン最後方まで引っ張ります。
3. プッシャベースを下げた状態のまま次の操作をして、本製品が作動しないことを確認します。
 - ① トリガスイッチを引いただけで作動しないこと（このとき、モータは回転しません）。
 - ② コンタクトトップを木材などに当てただけで作動しないこと（このとき、モータは回転します）。

■ 連発モードの場合

1. 単発・連発切替スイッチを押して、連発モードにします。
2. プッシャベースをマガジン最後方まで引っ張ります。
3. プッシャベースを下げた状態のまま次の操作をして、本製品が作動しないことを確認します。
 - ①トリガスイッチを引いただけで作動しないこと（このとき、モータは回転します）。
 - ②コンタクトトップを木材などに当てただけで作動しないこと（このとき、モータは回転します）。

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、必ずトリガスイッチから指を放してください。

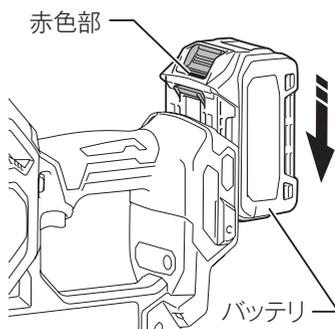
- ・ トリガスイッチを引いたままバッテリーを差し込むと、誤って発射された場合に事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

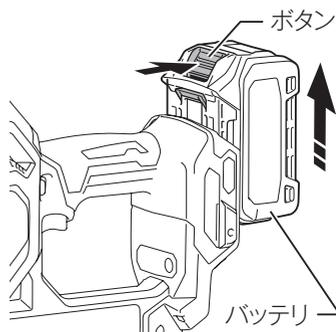
- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4025の取り付け例です。

取りはずし方

- ・ バッテリーの正面ボタンを押しながら、スライドさせて引き出します。



ステープルの装てん／抜き取り方法

⚠ 警告

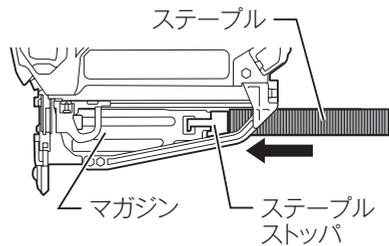
ステープルを装てんまたは抜き取る場合は、必ずバッテリーを抜いてください。
 ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

⚠ 注意

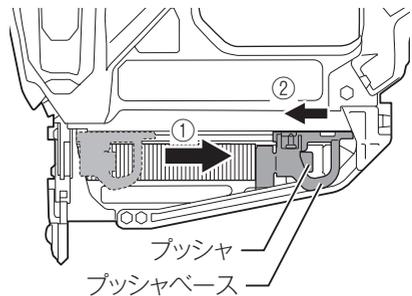
ステープルを装てんするときは、確実に装てんを完了してください。
 ・ ステープルがしっかり装てんされていないとつまりや故障の原因になります。

ステープルの装てん方法

1. バッテリーを抜きます（27 ページ「バッテリーの取り付け／取りはずし方法」参照）。
2. ステープルをマガジン後方からステープルストッパを超える位置まで入れます。



3. 左右にあるプッシャを押さずにプッシャベースの取っ手をマガジン後方まで引っ張り、静かに戻します。



注

- プッシャの先端がステープルに乗り上げていないことを確認してください。乗り上げているとステープルづまりや空打ちの原因となります。
- プッシャベースを戻す際、プッシャを押しのまま行くとステープルがセットされません。装てんはプッシャを押さずに行ってください。
- プッシャベースを急に放すとプッシャが急激に戻りステープルが変形したり、ばらばらになりステープルづまりの原因となります。プッシャベースは静かに戻してください。
- 指定以外のステープルを使用しないでください。
- ステープルやステープルの連結が変形したものは使用しないでください。
- マガジン内に異なるサイズのステープルを同時に装てんしないでください。
 - ・ ステープルづまり、故障の原因になります。
- 異なるサイズのステープルを装てんするときは、残っているステープルを取り除く、またはステープルの捨て打ちを行い、残量を0本にしてください。

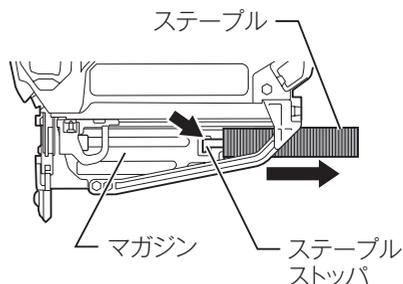
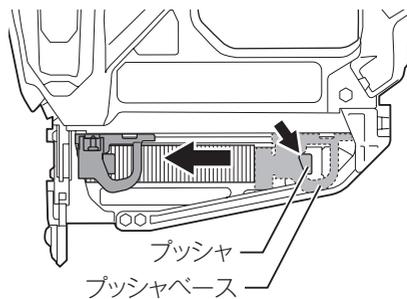
ステープルの抜き取り方

⚠ 警告

ステープルを抜き取る場合は、必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

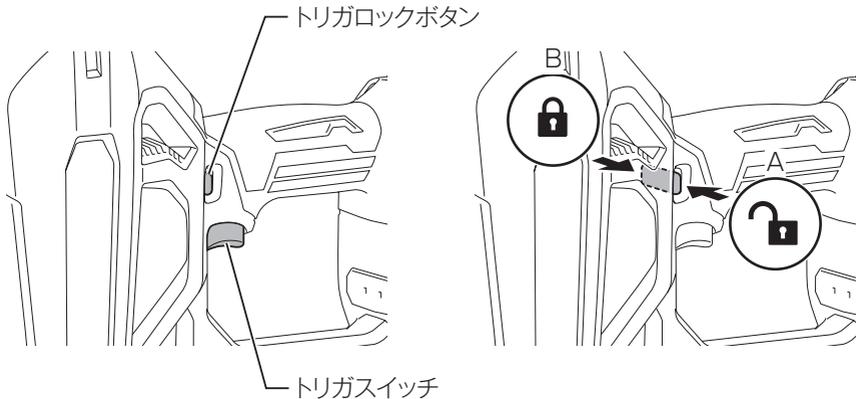
1. バッテリーを抜きます（27 ページ「バッテリーの取り付け／取りはずし方」参照）。
2. プッシャを左右から押して、ステープルを開放し、プッシャベースを静かに前方へ戻します。
3. ステープルストッパを押して、マガジン後方よりステープルを抜き取ります。



本製品の操作

トリガロックボタンの操作

- ・ トリガロックボタンを A 側から押した状態にすると、トリガスイッチのロックが解除されトリガスイッチを引くことができます。
- ・ トリガロックボタンを B 側から押した状態にすると、トリガスイッチのロックが固定されトリガスイッチが引けなくなり、コンタクトトップを押してもモータは回転しなくなります。



注

- ・ 本製品を使用しないときは、トリガロックボタンを B 側から押して、トリガスイッチのロックを固定してください。

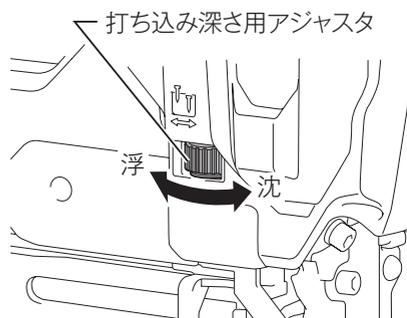
打ち込み深さ調整

⚠ 警告

打ち込み深さ調整する場合は、必ずバッテリーとステープルを抜いてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 打ち込み深さ用アジャスタを回すことで、打ち込み深さを調整することができます。調整幅は約 4 mm です。



空打ち防止機能

⚠ 警告

ステープルを装てんする場合は、必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ ステープルの残量が 0 本になると空打ち防止機能が働き、トリガスイッチを引いても打ち込めなくなります。この場合、ステープルを追加装てんすれば、続けて打ち込みできます。

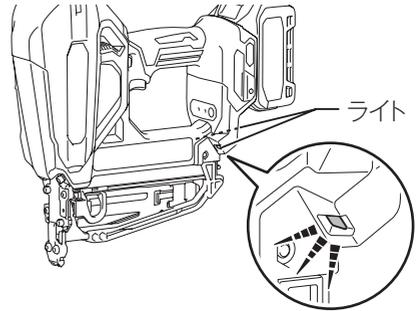
ライトの点灯

⚠ 警告

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

- ・ ライトはコンタクトトップを材料に当てたとき、またはトリガスイッチを引いたときに点灯します。
- ・ トリガスイッチから指を放し、コンタクトトップが材料から離れてから約 10 秒で消灯します。

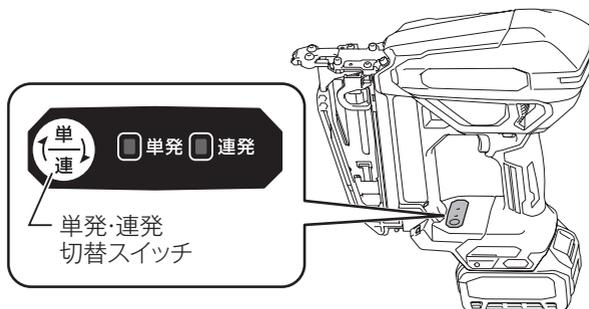


注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは綿棒などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ 本製品が動作異常を検出すると、ライトが点滅します。その際は、41 ページの「故障かな?と思ったら」を確認して、動作異常となる要因を取り除いてから動作させてください。
動作異常となる要因が不明な場合は、無理に動作させることなく修理をお申し付けください。

単発・連発切替スイッチ

- ・ 単発・連発切替スイッチを押して、打ち込みモードを切り替えます。単発・連発切替スイッチを押すごとに、打ち込みモードが単発モード、連発モードの順に切り替わります。
- ・ 単発・連発切替スイッチは 30 分間点灯します。
- ・ メモリー機能が搭載されており、バッテリーを抜き差ししても最後に使用したモードが保持されます。



■ 単発モード

- ・ 主に仕上げを重視する場合や狙った所に打つ場合に適しています。
- ・ 打ち込み材料にコンタクトトップを押し当て、トリガスイッチを引く操作で 1 本ずつ確実にステープルを打つ「単発打ち」ができます。

■ 連発モード

- ・ 主に床、壁、屋根などの下地打ちの場合に適しています。
- ・ ステープルを打った後、コンタクトトップを材料から離すことなく、次の打ち込み位置へ移動して再度トリガスイッチを引いてステープルを打つことができる「引きずり打ち」と、トリガスイッチを引いたまま打ち込み材料にコンタクトトップを押し当てる操作を繰り返すことで連続的にステープルを打つことができる「連続打ち」ができます。

注

- ・ 単発・連発の切り替えは、モータの回転が完全に停止した状態で行ってください。完全に停止していないと、スイッチを押しても切り替わりません。

打ち込み方法

⚠ 警告

25 ページの「安全装置の確認」を必ず確認してください。安全装置に異常がある場合は、使用しないでください。

- ・そのまま使用すると事故の原因になります。

射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。

- ・誤って発射した場合に事故の原因になります。

打ち込みが完了するまで、コンタクトトップを材料にしっかり押しつけてください。

- ・事故の原因になります。

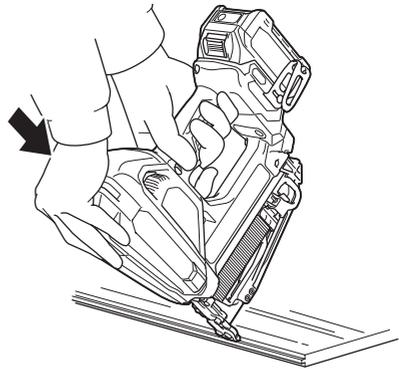
⚠ 注意

射出口を確実に材料に当ててください。

- ・確実に当てていないと、ステーブルがはね返り、事故の原因になります。

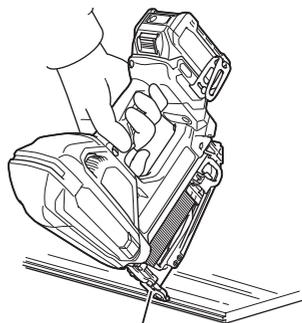
注

- ・打ち込み材料や下地が適しているかを確認するために、試し打ちをしてから使用してください。
- ・打ち込みが不完全な場合は、本製品の頭部をしっかりと押さえて打ち込んでください。
- ・本製品の頭部をしっかりと押しつけても打ち込みが不完全な場合は、打ち込み材料が適していません。
- ・コンタクトトップを押し当てたりトリガスイッチを引いたりした際に、モータが回転している状態が5秒以上継続すると、モータが止まり本製品は動作しません。この場合、コンタクトトップをいったん打ち込み材料から離し、トリガスイッチを放してから再度操作を実施してください。



■ 単発打ち

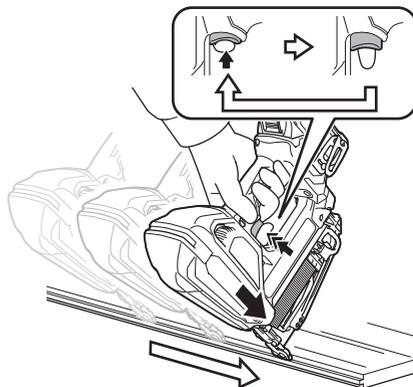
1. トリガロックボタンを押して、トリガスイッチのロックを解除します (30 ページ「トリガロックボタンの操作」参照)。
2. 単発・連発切替スイッチを押して、単発モードにします (33 ページ「単発・連発切替スイッチ」参照)。
3. コンタクトトップを打ち込み材料に当てます。
 - ・ モータが回転し始めます。
4. トリガスイッチを引いて打ち込みます。
5. もう一度打ち込む場合は、コンタクトトップをいったん打ち込み材料から離し、トリガスイッチを放してから再度手順 3、4 を実施します。



コンタクトトップ

■ 引きずり打ち

1. トリガロックボタンを押して、トリガスイッチのロックを解除します (30 ページ「トリガロックボタンの操作」参照)。
2. 単発・連発切替スイッチを押して、連発モードにします (33 ページ「単発・連発切替スイッチ」参照)。
3. トリガスイッチを放した状態でコンタクトトップを打ち込み材料にしっかり押し当てます。
 - ・ モータが回転し始めます。
4. トリガスイッチを引いて打ち込みます。
5. 続けて打ち込む場合は、トリガスイッチを放し、3の状態でも製品をスライドさせ、打ち込みたい場所でトリガスイッチを引く、トリガスイッチを放すを繰り返します。



■ 連続打ち

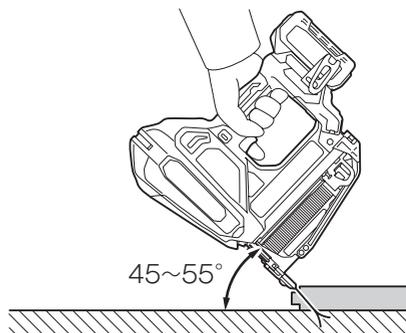
1. トリガロックボタンを押して、トリガスイッチのロックを解除します（30 ページ「トリガロックボタンの操作」参照）。
2. 単発・連発切替スイッチを押して、連発モードにします（33 ページ「単発・連発切替スイッチ」参照）。
3. トリガスイッチを引きます。
 - ・ モーターが回転し始めます。
4. トリガスイッチを引いたまま、打ち込み材料にコンタクトトップを押し当てると連続打ちをします。

フローリング作業

⚠ 警告

本製品を寝かしすぎるとフロア材の表面に膨らみが、また立てすぎると実（さね）の壊れが発生しやすくなります。
 本角度にて施工をしても諸条件により、膨らみや実（さね）の壊れが発生する場合がありますので、試し打ちをして確認の上、ご使用ください。

- ・ 本製品の角度を図のように $45 \sim 55^\circ$ に傾けて打ち込むようにしてください。



使用後の取り扱い

⚠ 警告

ご使用の後は必ずバッテリーとステーブルを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ マガジン内が汚れている場合は、清掃してください。マガジン内が汚れるとステーブルの動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。
- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布をよく絞ってからきれいに拭いてください。

注

- ・ スプレーなどを使用して工具内に潤滑剤または洗浄溶剤を絶対に塗布しないでください。本体内に入り込むと工具本体の寿命や性能に重大な影響を与える原因になります。
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

点検

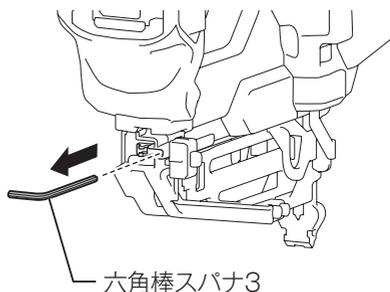
ステーブルづまりの直し方

⚠ 警告

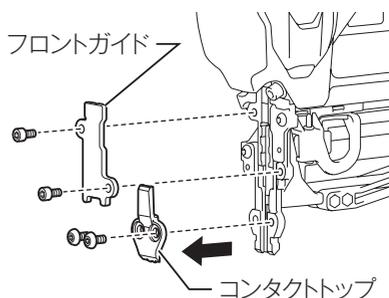
ステーブルづまりを直す際は、バッテリーとマガジンに残ったステープルを抜いて、素手で触らず保護手袋を装着してください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

1. バッテリーを抜きます（27 ページ「バッテリーの取り付け／取りはずし方法」参照）。
2. ステープルを抜き取ります（29 ページ「ステープルの抜き取り方」参照）。
3. 六角棒スパナ 3 収納部から六角棒スパナ 3 を取りはずします。



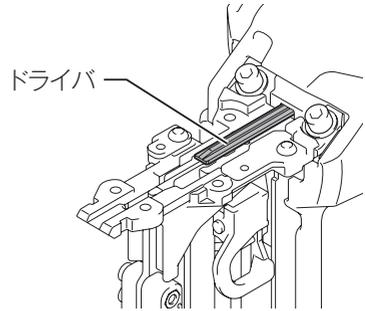
4. フロントガイドを固定している 2 本のボルトを六角棒スパナ 3 で取りはずし、フロントガイドを取りはずします。
5. コンタクトトップを固定している 2 本のボルトを六角棒スパナ 3 で取りはずし、コンタクトトップを取りはずします。



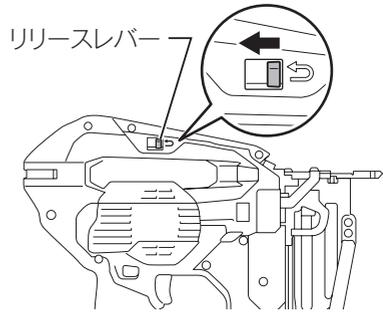
6. つまったステーブルを取り除きます。

注

- ・ つまったステーブルを取り除いたときに、止まっていたドライバがそのはずみで引き戻る場合があるため注意してください。

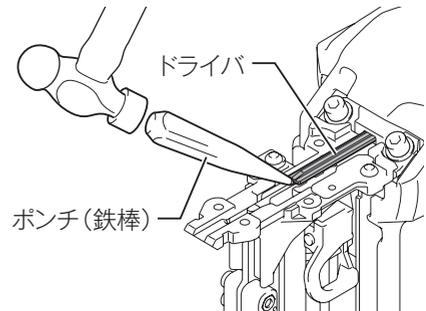


7. ドライバがロックして止まっている場合は、リリースレバーを十分な力で引きます。
- ・ ロックが解除されドライバが引き戻ります。



リリースレバーが固くて引けない場合

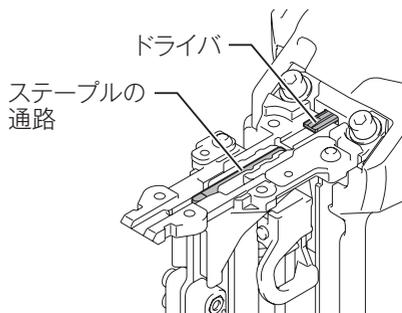
8. ドライバの先端にポンチ（鉄棒）などを当てて、ハンマで軽く徐々に叩きます。



注

- ・ 一度に強く叩くとドライバ先端を傷つける場合があります。

9. ステープレの通路にドライバが出ていないことを確認します。



10. 作業後は、取りはずしたフロントガイドとコンタクトトップを元通りに取り付けます。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない
- モータが回転しない

原因

- ・ 保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。
- ・ ステープルがつまっている可能性があります。

解消方法

トリガスイッチから指を放して、コンタクトトップを打ち込み材料から離してください。再度「打ち込み方法」（34～36 ページ参照）の各打ち込み方法の手順に従って操作をしてください。

↓ 解消しない

- モータが回転しない場合
→ ステープルづまりを解除してください。
- モータは回転するが、打ち込まない場合
→ 次の解消方法へ進んでください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 23 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

881K42-7
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)